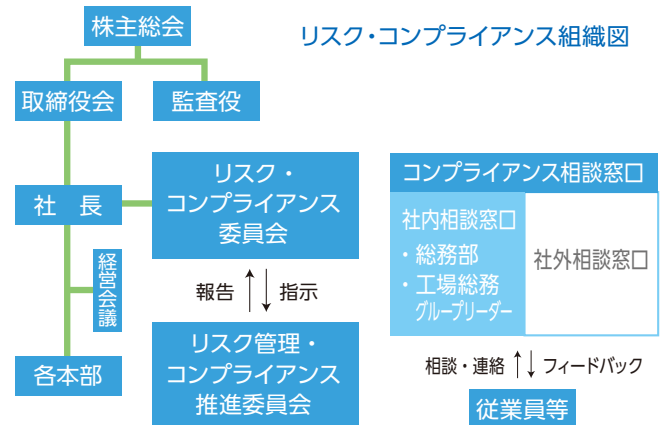


リスク・コンプライアンス活動

東罐興業は2006年に、それまで個々で活動していたリスク管理委員会とコンプライアンス推進委員会を統合し、リスク管理とコンプライアンス推進を統括する組織としてリスク・コンプライアンス委員会を設置して以来、「企業行動規準」の制定をはじめとした活動に取り組んでまいりました。

○ リスク・コンプライアンス推進組織

東罐興業は社長を委員長とし、各本部の本部長を中心とした委員からなるリスク・コンプライアンス委員会を設け、社内にコンプライアンス精神の浸透と定着を図るとともに、東洋製罐グループ各社と連携を取りながら東罐興業グループ全体のコンプライアンス体制の構築に取り組んでいます。また、下部組織としてリスク管理・コンプライアンス推進委員会を設置し、実務的な活動を行っています。



○ 2015年度取り組み

2015年度は「リスク・コンプライアンスを次の一歩へリスク・コンプライアンスを常に意識した行動を実践しよう!」を活動方針とし、特に「コンプライアンス推進活動」「リスク管理活動」「内部統制」を取り組み項目に掲げ、活動しました。

○ コンプライアンス推進月間

東罐興業を含めた東洋製罐グループでは毎年10月を「コンプライアンス推進月間」と定めています。2015年は「誠実で公正な事業活動を肝に銘じよう!」という共通スローガンを掲げ、さまざまな活動に取り組みました。

○ 社外相談窓口

東洋製罐グループでは、従業員などからのコンプライアンス違反行為に関する通報や相談に応じるグループ会社共通の窓口として、社外に「企業倫理ホットライン」および「セクハラ・人間関係ホットライン」を設置しています。この社外相談窓口を周知するため、PRポスターを作成し、グループ各社の事業所内に掲示しています。



○ リスク管理

東罐興業の業務執行にかかわるリスクとして、以下の項目を重要なリスクと認識し、リスクごとに担当部署を定め、規則・ガイドラインを策定するとともに、組織横断的なリスク管理体制を構築しています。

「コンプライアンス」「品質」「環境」「債権回収」「情報セキュリティ」「自然災害・事故」「カントリー」「人事・労務」「購買」「設備防災」

○ 対象リスクへの対応事例

自然災害・事故リスク [安否確認システムの導入]

災害が発生した時に従業員の安否を把握することや、風水害による人的・物的被害の状況を把握することは大変重要であると考え、2013年度から東罐興業グループ全体で安否確認システムを導入しました。安否確認や被害状況などの情報収集に利用し、指示・連絡に役立てます。